

Recital “SKY”
at The Symphony Hall | 2024.10.31 Thu

一人の美術家による世界初のリサイタル
クラシック音楽の殿堂でこの夜一枚の絵画が産声を上げる

山口和也 | リサイタル“スカイ” | ザ・シンフォニーホール
Kazuya Yamaguchi

19:00開演 (18:00開場) 21:00閉場 チケット:一般前売 5,000円 | 学生前売 3,000円 | 当日 5,500円 ※全席自由
主催:空花(くわ) | 協力:ザ・シンフォニーホール

2020 筆音のリサイタル

世界がパンデミックに陥った2020年、展覧会やコンサートが軒並み中止になっていく中、美術家の山口和也はロームシアター京都メインホールという劇場を闇と光という視覚を抛り所とできない空間へと演出し、そのステージの只中に設えたキャンパスの前へ一切の描くものを持たずに自らを立たせる“BLACKOUT/WHITEOUT”という無観客上演を試みました。

薄暗く横たわる二千を超える無人の客席の前に一人ステージに立った山口は、あたかも宇宙空間における個の生命体を象徴するようであり、最初に聴こえてきたのはホールに響く自らの足音や息づかいであったと言います。そうした自身のリズムをきっかけとして山口は一筆目をキャンバスへ刻み、ホール内にこだましたその筆音がまた次の一筆を誘いました。一時間ほどしてステージを降りたあとには描かれたそれら音の痕跡が残り、山口はそれを絵画と名付けました。

結果としてこの試みは、音楽や絵画、芸術といった言葉やジャンルが誕生する以前へのアプローチとなり、それはまた人がこの世に誕生してから去るまでの「生きること」そのものようでもありました。翌2021年に同ノースホールでの“BLACKOUT/WHITEOUT”初公演を終えた山口は、その筆音による「生きる鼓動」を人の一生とした独演会（リサイタル）の準備をはじめました。

2024 リサイタル“Sky”へ

筆音のリサイタルに相応しい会場を求めた山口は、2022年にザ・シンフォニーホールの音楽総監督 喜多弘悦氏と出会い、2023年3月13日その序章となる展覧会「絵画というリサイタル」を本ホールでは初となる美術家の個展として実施し好評を博します。その舞台挨拶で喜多氏から「山口さんがこのホールに立てば何か新しい芸術が生まれるのではないか」という一言がありこのたびのリサイタルが決定しました。タイトルを“Sky”とあらためた初公演となります。一人の芸術家がクラシック音楽の殿堂といわれるコンサートホールで、筆音によるリサイタルを開催した前例は世界でもなく、“Sky”は世界初のリサイタルとなります。



ザ・シンフォニーホール

2024年
10月31日^[木]

19:00開演 (18:00開場)
21:00閉場

舞台監督：
夏目雅也 | Masaya Natsume
音響：
東 岳志 | Takeshi Azuma

チケット：[一般前売] 5,000円 [学生前売] 3,000円 [当日] 5,500円

※全席自由 | ◎パンフレット/次回展覧会入場チケット付
※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。

前売：
ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333 (11:00-16:00/火曜定休)
<https://www.symphonycity.jp>
Peatix (下記QRコード)
お問合せ = 空花:075-201-5125

クラウドファンディング：
キャンプファイヤー (下記QRコード)
9月20日[金]-10月20日[日]
リサイタル“Sky”へのご支援を募っています。



Peatix



キャンプファイヤー

Recital “Sky” at The Symphony Hall | Kazuya Yamaguchi

山口和也 | Kazuya Yamaguchi

瞬間的な痕跡によって永遠性を描き出す美術家。音楽家と一対一でステージに立ち、その間合いを焦点とした即興で描かれる絵画“KAKIAIKKO”で、2000年開口芸術基金賞グランプリを受賞。副賞として滞在したニューヨークで日本画家千住博の依頼を受け、アトリエでの制作風景を五年間撮影、二冊の写真集を刊行する。2008年からはボクサー辰吉丈一郎の撮影を続ける。2016年 普照山観音寺本堂(兵庫)へ天井画「鳳凰図」を描く。2018年日本で唯一の紙祖神を祀る 岡太神社・大瀧神社(福井)の「千参百年大祭・御神忌」にて「絵画点火式」を奉納。同年 一休禪師を開祖とする大徳寺真珠庵(京都)の本堂襖絵「空花」を描く。2019年アルマーニ銀座タワーでのライブペインティングにて“Letter to G.A.”を描く。2020年ロームシアター京都にてリサイタル“BLACKOUT/WHITEOUT”#0を無観客上演。翌年同#1を初公演。2023年 ザ・シンフォニーホールにて個展「絵画というリサイタル」を開催。

受賞歴：日本ビジュアルアート展 特別賞、フラッグアート展 日比野克彦賞、関口芸術基金賞(TAMON賞)大賞、高砂市文化奨励賞など

Website | <https://yamaguchikazuya.jp>

ザ・シンフォニーホール

〒531-8501 大阪府大阪市北区大淀南二丁目3-3
TEL:06-6453-1010 | <http://www.symphonycity.jp>
[アクセス]

- ・JR大阪環状線 福島駅から北へ徒歩約7分
- ・JR大阪駅から西へ徒歩約15分



表面：絵画“WHITEOUT #1” 2021
裏面：リサイタル“BLACKOUT/WHITEOUT #1”の様子